

道労連17春闘「3・16全国統一行動日アピール」

17 国民春闘は、「8 時間働けば、まともに暮らせる社会」に向け、社会的賃金闘争で賃金の底上げで地域の活性化を図ること、差別的賃金の容認、長時間労働などを強いる「アベ働き方改革」を止めさせること、平和と民主主義、憲法をまもることを焦点にたたかわれています。そして、労働組合の仲間を増やす大運動など、どれも歴史の岐路というべき重大な情勢のもとで、労働運動の存在そのものが問われる、特別な春闘がたたかわれています。



2012 年 12 月、急性期病院の K K R 札幌医療センターで新人看護師が過労自死しました。お母さんは、「次の綾（あや）を出させない。」と労災認定を求める裁判に立ち上がり長時間過密労働の社会的是正と労働組合の再生をもとめたたかいはじめています。日本最大手の広告代理店「電通」では、新人社員が 130 時間もの時間外労働を強いられ過労自死しています。宅配便大手のヤマト運輸では、長時間過密労働と数百億円に上るとされる膨大な残業代未払いが発覚し、社会問題になっています。

道労連が昨年行った「最低生計費調査」の結果がまとまり、25 歳の若者がきちんとした一人暮らしをするには、札幌で月約 22 万円、釧路で月約 24 万円の収入が必要であることが明らかになりました。北海道の最低賃金 786 円では、フルタイム働いても月 10 万円の収入しか得られず、まともな生活は到底できないことが裏付けられました。

「戦争する国」づくりに暴走する安倍政権は、戦争法を発動させ、憲法違反の南スーダン P K O 派遣での「駆けつけ警護」など本格的な武器使用を自衛隊員に強いています。沖縄では、オスプレイパッド建設工事を抵抗する住民を弾圧しながら強行しています。国民監視を強め、内心の自由すら奪う「共謀罪」制定を三たび強行しようとしています。

労働者・国民ひとり一人が「集まり、声をあげる」以外に打開する道は開かれません。全道では、道医労連、建交労、福祉保育労、通信労組などがストライキ含む行動、札幌や釧路では、地域ぐるみでの集会やデモが行われています。労働組合の姿を職場と地域にアピールして、共同と連帯の和を広げる総行動です。

17 春闘は「善戦健闘」では済まされません。「さすが労働組合」と言われるような、熱い、熱い 17 国民春闘に勝利しようではありませんか。すべての仲間のみなさんの総決起を呼びかけます。

2017 年 3 月 16 日

北海道労働組合総連合議長 黒澤 幸一